

**富士ロジテックホールディングス 家具など大型商材の対応拡充のため相模原に新拠点
「GLP ALFALINK 相模原」の約 3,500 坪を契約 EC への体制を強化
～2024年問題へー役 「置き配」パースでドライバーの荷待ち削減が可能に～**

株式会社富士ロジテックホールディングス（本社：静岡市葵区、代表取締役社長：鈴木庸介）は、神奈川県相模原市にある多機能型物流拠点「GLP ALFALINK 相模原」内に新拠点（延床：3,473 坪〔11,481 m²〕）を設置しました。新拠点は、今年5月に竣工した「相模原2」内にあり、家具などの大型商材の保管や受発送業務に適しています。佐川急便や西濃運輸の営業所が敷地内にあることから、toB、toCの双方において効率的な集荷・配送が可能となります。当社は、拡大するEコマース需要に対し、幅広いお客様ニーズに対応できるよう設備やシステムなどを拡充し、体制を強化してまいります。



GLP ALFALINK 相模原 2 の外



高床式になっており大型の商材に適している



大型商材を荷下ろしするためのマシンを導入

今回、拠点を設置する GLP ALFALINK 相模原 2 は、高床式フロアとなっており、コンテナからの荷下ろし作業（デバンニング）が多い家具などの大型商材に適しているのが特徴です。相模原市は首都圏への配送拠点として交通網が充実しており、すでに家具を中心に扱う EC 事業者様のご利用が決定しています。同拠点の年間の売上高は約 3 億 6 千万円を見込んでいます。

2024年問題へー役 「置き配」パースでドライバーや従業員の負担軽減が可能に

倉庫の一部には、営業時間外でも無人で荷物の受け取りや出荷ができる「置き配」パースを備えており、労働時間規制によりトラックドライバーなどが不足する「2024年問題」を想定した運用が可能です。これにより、夜間から早朝における納品・出荷がスムーズになり、配送業者の荷待ち時間削減に貢献できます。また当社従業員も、受け取りのために通常業務時間外に待機する必要がないため、残業時間の低減にもつながります。

より幅広い商材に対応できるEコマース物流へ体制を強化

当社の神奈川県地区でのEC向け事業は、アパレル関連を中心に売上高2.5億円と前年比78%増で成長しています。一方で家具などの大型商材の取り扱いも前年比30%増と堅調に推移しており、より幅広い商材を取り扱える体制を整えることで、多様なお客様のニーズを取り込む狙いです。

また当社では、独自にカスタマイズした音声式検品システムを導入したほか、自動搬送ロボットによる発送仕分けの省人化も実施するなど、テック領域での投資も加速させています。特にGLP ALFALINK 相模原は、1フロア運営で広域となるため、フォークリフト及びピッキング作業者のパレット搬送の移動時間を削減するためのロボットを導入しています。業務効率化と利益率改善を継続的に推進しながら、今後も顧客に寄り添ったサービスを提案してまいります。

【新拠点概要】

拠点名	神奈川県 神奈川事業部 ALFALINK 相模原第2物流センター		
所在地	神奈川県相模原市中央区田名 3532-15		
延床面積	3473.29 坪 [11,481 m ²] (建屋延床面積：27437.36 坪)		
構造	PCaPC 造/免震構造	サービス開始	2023年6月22日～
主な設備	高床 1.0m、オールシャッター化、置き配バース、トラック待機場 75 台など		